



学校だより

—しなやかで、たくましい

心とからだを育てる船二小一

令和6年9月30日（月）No.6

江戸川区立船堀第二小学校 校長 則岡 小織

凡事徹底

校長 則岡 小織



猛暑にも負けず、園芸委員会の子供たちが心を込めて育てた秋の植物が花を咲かせようとしています。今年は、校内に花が多く見られて心が豊かになったように感じます。暑さも落ち着き始め、学習・運動に適した季節となります。また、学年の振り返りでもあり、後半のスタートです。生活科見学、社会科見学、体育大会、青空給食、ヤクルト出前授業等、どの学年も体験活動・校外学習が予定されています。行事を通して子供たちが成長できるよう取り組んでまいります。この秋、どんな成長の実りがあるか楽しみです。

さて、『凡事徹底』という言葉をご存じでしょうか。特別なことではなく、ごく平凡なことを徹底してやり抜くという意味です。当たり前のことを当たり前徹底してできることは将来一人前の大人としての基礎を築くことにつながります。例えば、靴や上履きを脱ぐとき、きちんとそろえて靴箱に入れることが自然とできること。友達や先生、学校に来る人に「こんにちは」と気持ちよく挨拶ができること。登校時間を守って安全に登校すること。宿題や提出物をきちんと行うこと。全て、当たり前のことですがなかなか徹底するのは難しいものです。子供たちの様子を見てみると、これらができている子は学習や生活に余裕をもって取り組み、楽しんで活動しています。

私は出勤にバスと電車を使っています。毎朝、バスに乗ってくる高校生がいます。定期の「ピッ」という音とともに運転手さんに「おはようございます」とあいさつをする姿を見て毎朝心が温かくなります。

バスを降りて電車に乗り換える途中で、他校の先生に会うことが度々あります。その時は、「おはようございます」とあいさつを交わします。そして、船堀駅を降りて学校に向かう中で、保護者の方と会います。駅に小走りで向かう忙しい朝でしょうが、ここでも必ず「おはようございます」とあいさつを交わします。ちょっと気が乗らない日でも、この3回の「おはようございます」で、今日も頑張れそうな気になります。そして、校門で子供たちを迎える時の子供たちの明るいあいさつで「学校っていいな」と思います。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」たった一言のあいさつですが、その力は大きなものです。この当たり前の「あいさつ」ができることはとても素晴らしいことです。私たち教職員も率先して明るいあいさつを心掛けています。「凡事徹底」、まずは「あいさつ」ができる子を増やし、次に、「時間」を意識できる子を増やしていきたいです。学校生活の中で「時間」はとても大事です。登校時間を守り、朝の活動がそろって行えるようになるといいなと思います。多様性、価値観の違い等があっても、「あいさつ」と「時間を守る」は、普遍的に変わらないものではないでしょうか。みんなで「凡事徹底」を意識して生活できることを船二では目指します。ご家庭でもご協力をお願いします。

【車いすバスケ体験 4年生】

操作だけでも難しい・・・



【生活科 1年生】

虫の飼い方を相談しています



【シッティングバレー 5年生】

上半身だけなので苦戦中

